

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース	夜間・通信	1764 時間	80×2＝160時間	
	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電子技術コース	夜間・通信	864 時間	80×2＝160時間	
	電気電子学科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	1764 時間	80×2＝160時間	
	航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース	夜間・通信	828 時間	80×2＝160時間	
	航空学科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	828 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース	夜間・通信	2592 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 建築施工コース	夜間・通信	2592 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 情報&環境建築コース	夜間・通信	2592 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 一級建築士・大学コース	夜間・通信	2592 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 建築工学コース	夜間・通信	1998 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 福祉住環境デザインコース	夜間・通信	1998 時間	80×2＝160時間	
	建築学科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	2160 時間	80×2＝160時間	
	インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース	夜間・通信	2232 時間	80×2＝160時間	
	インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	2160 時間	80×2＝160時間	
	情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース	夜間・通信	1620 時間	80×2＝160時間	
	情報システム科 昼間制 (2年制) AIシステムコース	夜間・通信	1620 時間	80×2＝160時間	
	情報システム科 昼間制 (2年制) ICTクリエイターコース	夜間・通信	1620 時間	80×2＝160時間	
	情報システム科 昼間制 (2年制) ITスペシャリスト・大学コース	夜間・通信	1584 時間	80×2＝160時間	
	情報システム科 昼間制 (2年制) 情報システムコース	夜間・通信	1764 時間	80×2＝160時間	
	情報システム科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	1764 時間	80×2＝160時間	
	経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にするコース	夜間・通信	252 時間	80×2＝160時間	
	経営情報科 昼間制 (2年制) マネジメントエキスパートコース	夜間・通信	252 時間	80×2＝160時間	
	経営情報科 昼間制 (2年制) SDGsビジネスコース	夜間・通信	252 時間	80×2＝160時間	
	経営情報科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	252 時間	80×2＝160時間	
	経営情報科 昼間制 (2年制) 経営情報コース	夜間・通信	468 時間	80×2＝160時間	
	法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース	夜間・通信	1224 時間	80×2＝160時間	
	法律情報科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・通信	1224 時間	80×2＝160時間	
	大学併修学科 昼間制 (4年制)	夜間・通信	1188 時間	80×4＝320時間	

芸術専門課程
(文化教養)

コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース	夜間・ 通信	1476 時間	80×2＝ 160時間	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ制作コース	夜間・ 通信	1440 時間	80×2＝ 160時間	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ音響コース	夜間・ 通信	1440 時間	80×2＝ 160時間	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) ステージ照明コース	夜間・ 通信	1440 時間	80×2＝ 160時間	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベントビジネス・大学コース	夜間・ 通信	1728 時間	80×2＝ 160時間	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1692 時間	80×2＝ 160時間	
映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース	夜間・ 通信	1764 時間	80×2＝ 160時間	
映像メディア学科 昼間制 (2年制) 動画クリエイターコース	夜間・ 通信	1656 時間	80×2＝ 160時間	
映像メディア学科 昼間制 (2年制) 映像ビジネス・大学コース	夜間・ 通信	1872 時間	80×2＝ 160時間	
放送芸術科 昼間制 (2年制) 放送芸術コース	夜間・ 通信	1764 時間	80×2＝ 160時間	
放送芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1764 時間	80×2＝ 160時間	
音響芸術科 昼間制 (2年制) 音響芸術コース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2＝ 160時間	
音響芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	2052 時間	80×2＝ 160時間	
CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース	夜間・ 通信	1080 時間	80×2＝ 160時間	
CGクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	576 時間	80×2＝ 160時間	
デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース	夜間・ 通信	2016 時間	80×2＝ 160時間	
デザイン科 昼間制 (2年制) WEBデザインコース	夜間・ 通信	2052 時間	80×2＝ 160時間	
デザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	2052 時間	80×2＝ 160時間	
Webデザイン科 昼間制 (2年制) Webデザインコース	夜間・ 通信	1548 時間	80×2＝ 160時間	
Webデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1548 時間	80×2＝ 160時間	
グラフィックデザイン科 (2年制) グラフィックデザインコース	夜間・ 通信	630 時間	80×2＝ 160時間	
グラフィックデザイン科 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	630 時間	80×2＝ 160時間	
声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース	夜間・ 通信	1512 時間	80×2＝ 160時間	
声優・演劇科 昼間制 (2年制) 俳優コース	夜間・ 通信	1512 時間	80×2＝ 160時間	
声優・演劇科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1512 時間	80×2＝ 160時間	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2＝ 160時間	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツインストラクターコース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2＝ 160時間	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツマネジメントコース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2＝ 160時間	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) サッカーエキスパートコース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2＝ 160時間	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1944 時間	80×2＝ 160時間	

芸術専門課程 (文化教養)	ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル & シンガーソングライターコース	夜間・ 通信	2268 時間	80×2＝ 160時間	
	ミュージック科 昼間制 (2年制) プレイヤーコース	夜間・ 通信	1476 時間	80×2＝ 160時間	
	ミュージック科 昼間制 (2年制) サウンドデザイナーコース	夜間・ 通信	1800 時間	80×2＝ 160時間	
	ミュージック科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	2844 時間	80×2＝ 160時間	
	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース	夜間・ 通信	1620 時間	80×2＝ 160時間	
	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) おもちゃクリエイターコース	夜間・ 通信	1476 時間	80×2＝ 160時間	
	ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1800 時間	80×2＝ 160時間	
	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース	夜間・ 通信	1656 時間	80×2＝ 160時間	
	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース	夜間・ 通信	1440 時間	80×2＝ 160時間	
	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーションコース	夜間・ 通信	1440 時間	80×2＝ 160時間	
	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	2412 時間	80×2＝ 160時間	
	アニメーション科 (2年制) アニメーションコース	夜間・ 通信	1836 時間	80×2＝ 160時間	
	アニメーション科 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1836 時間	80×2＝ 160時間	
	マンガ科 (2年制) マンガコース	夜間・ 通信	1728 時間	80×2＝ 160時間	
	マンガ科 (2年制) イラストレーションコース	夜間・ 通信	1728 時間	80×2＝ 160時間	
	マンガ科 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1728 時間	80×2＝ 160時間	
教育・福祉専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース	夜間・ 通信	4752 時間	80×4＝ 320時間	
	教育専攻科 昼間制 (4年制) 小学校教諭1種コース	夜間・ 通信	4464 時間	80×4＝ 320時間	
	教育専攻科 昼間制 (4年制) 保健体育教諭1種コース	夜間・ 通信	648 時間	80×4＝ 320時間	
	こども学科 昼間制 (3年制) こども英語コース	夜間・ 通信	1764 時間	80×3＝ 240時間	
	こども学科 昼間制 (3年制) こども音楽コース	夜間・ 通信	1764 時間	80×3＝ 240時間	
	こども学科 昼間制 (3年制) こどもスポーツコース	夜間・ 通信	1764 時間	80×3＝ 240時間	
	こども学科 昼間制 (3年制) 大学コース	夜間・ 通信	2700 時間	80×3＝ 240時間	
	こども学科 昼間制 (3年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	夜間・ 通信	1980 時間	80×3＝ 240時間	
	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	夜間・ 通信	2448 時間	80×2＝ 160時間	
	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	2484 時間	80×2＝ 160時間	
	幼児教育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	夜間・ 通信	1476 時間	80×2＝ 160時間	
	幼児教育学科 昼間制 (2年制) 保育士コース	夜間・ 通信	1476 時間	80×2＝ 160時間	
	幼児教育学科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	1548 時間	80×2＝ 160時間	
	公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース	夜間・ 通信	792 時間	80×2＝ 160時間	
	公務員科 昼間制 (2年制) 大学コース	夜間・ 通信	792 時間	80×2＝ 160時間	

備考:『建築学科』(福祉住環境デザインコース)2年生のみ 『建築学科』(大学コース)2年生のみ 『情報システム科』(情報システムコース)2年生のみ 『情報システム科』(大学コース)2年生のみ 『経営情報科』(経営情報コース)2年生のみ ＜放送芸術科＞は＜映像メディア学科＞へ学科名称変更 『放送芸術科』(放送芸術コース)2年生のみ 『放送芸術科』(大学コース)2年生のみ ＜Webデザイン科、グラフィックデザイン科＞は＜デザイン科＞へ学科名称変更 『Webデザイン科』(Webデザインコース)2年生のみ 『Webデザイン科』(大学コース)2年生のみ 『グラフィックデザイン科』(グラフィックデザインコース)2年生のみ 『グラフィックデザイン科』(大学コース)2年生のみ ＜アニメーション科、マンガ科＞は＜アニメ・マンガ科＞へ学科名称変更 『アニメーション科』(アニメーションコース)2年生のみ 『アニメーション科』(大学コース)2年生のみ 『マンガ科』(イラストレーションコース)2年生のみ 『マンガ科』(大学コース)2年生のみ 『こども学科』(保育士・幼稚園教諭2種コース)2年生、3年生のみ ＜幼児教育学科＞は＜幼児保育学科＞へ学科名称変更 『幼児教育学科』(保育士・幼稚園教諭2種コース)2年生のみ 『幼児教育学科』(保育士コース)(大学コース)2年生のみだが在籍者無し

2.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表公表方法 HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の实務経験に関するチェック欄に○あり。 (掲載: https://technosac.jp/school/eng-information-disclosure.pdf)
--

3. 要件をみたすことが困難である学科
学科名

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している (掲載： https://technosac.jp/school/eng-information-disclosure.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学名誉教授	2020/4/1- 2025/3/31	教育全般に対する提案・指導・チェックや、大学関係者との橋渡しを期待する。
非常勤	飲食関連顧問	2020/4/1- 2025/3/31	飲食関連をはじめ、ホテルや観光関連に関した知見を元に、関連教育へ生かしていただく。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 研究科(1年制)、電気電子学科(2年制)、航空学科(2年制)、建築学科(2年制)、インテリアデザイン科(2年制)、情報システム科(2年制)、経営情報科(2年制)、法律情報科(2年制)、大学併修学科(4年制)、コンサート・イベント科(2年制)、映像メディア学科(2年制)、音響芸術科(2年制)、CGクリエイター科(2年制)、デザイン科(2年制)、声優・演劇科(2年制)、スポーツビジネス科(2年制)、ミュージック科(2年制)、ゲームクリエイター科(2年制)、アニメ・マンガ科(2年制)、教育専攻科(4年制)、こども学科(3年制)、幼児保育学科(2年制)、公務員科(2年制) 〔作成について〕 各授業科目については毎年度系部長会議により授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員が作成する。 授業科目名、必要時間数、担当教員名、到達目標・テーマ、講義内容、授業計画、成績評価方法、教科書等に関する事項は全科目共通で記載することが必須であり学内統一様式でシラバスを作成している。 〔時期について〕 翌年度の講義予定は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会で承認を受ける。3月中に翌年度分のシラバスをHPに公開している。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「学則」「学生生活のしおり」において成績評価、履修について規定している。 各学科で定める授業科目の試験(レポート、小テスト等を含む)により成績評価を行っている。 〈参考〉 <u>学則第21条</u> 校長は教育課程の定めるところにより、修了すべき教科目を試験等による評価のうえ修了したと認める者には当該教科目の修了を認定する。 <u>学生生活のしおり</u> (掲載：https://www.technosac.jp/current/) V-1-6 成績評価 (1) 成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはGPAを導入し、学内の成績評価として使用している。GPAは学生の履修した科目あたりの平均成績を指す。 本校では独自奨学金、学業優秀者の選考資料として教員会議で活用している。 学業成績は授業科目ごとに行う試験（定期試験、小テスト、レポート等）によって評価される。評価点数により100～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCとして通知する。 成績評価方法についてはHPで公開するほか、学生生活のしおりに掲載し入学時オリエンテーションで新入生に通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPへの掲載 https://technosac.jp/school/eng-information-disclosure.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 東京工学院専門学校は人生100年時代で多様化する社会に対応するため専門性・人間力・総合力の本質的な力を持った「本物の職業人」を育成することを目的としている。 卒業要件については各学科定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細についてはディプロマポリシーはじめ学則、学生生活のしおりに掲載しており、HPに公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPへの掲載 https://technosac.jp/school/eng-information-disclosure.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報HP公開している https://technosac.jp/school/eng-information-disclosure.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度評価について、学校HPに公開している。 (掲載: https://technosac.jp/school/air-information-disclosure.pdf)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
2021 年度～2023 年度 5 名の委員を選出し学校関係者評価委員会を組織済み。 各位委員の知見を生かし教育内容・学校運営等について評価を実施する。 評価内容を理事会、ボード会、教務委員会に報告し、次年度以降に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NPO 法人 理事長	2021. 10. 1 ～2023. 9. 30	団体
木材会社 代表取締役	2021. 10. 1 ～2023. 9. 30	企業(卒業生)
アプリケーション開発会社 代表取締役	2021. 10. 1 ～2023. 9. 30	企業
映像制作機材レンタル会社 営業部長	2021. 10. 1 ～2023. 9. 30	企業
サッカースクール 代表取締役	2022. 3. 1 ～2023. 9. 30	企業(卒業生)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022 年 3 月に委員会を開催、2020 年度評価をHPで公開している。 (掲載: https://technosac.jp/school/eng-information-disclosure.pdf)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP アドレスは https://www.technosac.jp/eng/ 資料請求は https://www.school-go.info/19gi13/technosac/form.php?fno=1&fsno=1&nno=72
--

②学校単位の情報
a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース / 電子技術コース / 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
航空学科 昼間制 (2年制) パイロットコース / 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
建築学科 昼間制 (2年制) 建築設計コース / 建築施工コース / 情報&環境建築コース / 一級建築士・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
建築学科 昼間制 (2年制) 福祉住環境デザインコース / 大学コース	/ 円	650,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
インテリアデザイン科 昼間制 (2年制) インテリアデザインコース / 大学コース		520,000 円	330,000 円	
情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース / AIシステムコース / ICTクリエイターコース / ITスペシャリスト・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
情報システム科 昼間制 (2年制) 情報システムコース / 大学コース	/ 円	650,000 円	330,000 円	
経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にするコース / マネジメントエキスパートコース / SDGsビジネスコース / 大学コース		620,000 円	330,000 円	
経営情報科 昼間制 (2年制) 経営情報コース	/ 円	620,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース / 大学コース		620,000 円	330,000 円	
大学併修学科 昼間制 (4年制)	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) イベント企画コース / ステージ制作コース / ステージ音響コース / ステージ照明コース / イベントビジネス・大学コース	200,000 円	720,000 円	330,000 円	
コンサート・イベント科 昼間制 (2年制) 大学コース	/ 円	720,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース / 動画クリエイターコース / 映像ビジネス・大学コース		720,000 円	330,000 円	
放送芸術科 昼間制 (2年制) 放送芸術コース / 大学コース	/ 円	720,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
音楽芸術科 昼間制 (2年制) 音楽芸術コース / 大学コース		720,000 円	330,000 円	
CGクリエイター科 昼間制 (2年制) CGクリエイターコース / 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース / WEBデザインコース / 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
Webデザイン科 昼間制 (2年制) Webデザインコース / 大学コース	/ 円	670,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
グラフィックデザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース / 大学コース		670,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
声優・演劇科 昼間制 (2年制) 声優コース / 俳優コース / 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
スポーツビジネス科 昼間制 (2年制) スポーツトレーナーコース / スポーツインストラクターコース / スポーツマネジメントコース / サッカーエキスパートコース / 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
ミュージック科 昼間制 (2年制) ヴォーカル&シンガーソングライターコース / プレイヤーコース / サウンドデザイナーコース / 大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
ゲームクリエイター科 昼間制 (2年制) ゲームクリエイターコース / おもちゃクリエイターコース / 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) アニメーションコース / マンガコース / イラストレーションコース / 大学コース	200,000 円	670,000 円	330,000 円	
アニメーション科 昼間制 (2年制) アニメーションコース / 大学コース	/ 円	670,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース / イラストレーションコース / 大学コース		670,000 円	330,000 円	2年生のみ在籍
教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース / 小学校教諭1種コース / 保健体育教諭1種コース	200,000 円	822,000 円	330,000 円	
こども学科 昼間制 (3年制) こども英語コース / こども音楽コース / こどもスポーツコース / 大学コース	200,000 円	742,000 円	365,000 円	
こども学科 昼間制 (3年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	/ 円	742,000 円	365,000 円	2、3年生のみ在籍
幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース / 大学コース		770,000 円	380,000 円	
幼児教育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース / 保育士コース / 大学コース	/ 円	770,000 円	380,000 円	2年生のみ在籍
公務員科 昼間制 (2年制) 公務員コース / 大学コース		450,000 円	330,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東京工学院専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		96 人	103 人	199 人
内 訳	第Ⅰ区分	62 人	67 人	
	第Ⅱ区分	21 人	26 人	
	第Ⅲ区分	13 人	－ 人	
家計急変による支援対象者（年間）				0 人
合計（年間）				199 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0 人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に 連続して該当	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）				
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	— 人
3月以上の停学	0 人
年間計	— 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

	学科名	修業 年数	コース	
1	削除			1
2	電気電子学科	2年	電気工学コース	2
3	電気電子学科	2年	電子技術コース	3
4	電気電子学科	2年	大学コース	4
5	航空学科	2年	パイロットコース	5
6	航空学科	2年	大学コース	6
7	建築学科	2年	建築設計コース	7
8	建築学科	2年	建築施工コース	8
9	建築学科	2年	情報&環境建築コース	9
10	建築学科	2年	一級建築士・大学コース	10
11	建築学科	2年	建築工学コース	11
12	建築学科	2年	福祉住環境デザインコース	12
13	建築学科	2年	大学コース	13
14	インテリアデザイン科	2年	インテリアデザインコース	14
15	インテリアデザイン科	2年	大学コース	15
16	情報システム科	2年	ITエンジニアコース	16
17	情報システム科	2年	AIシステムコース	17
18	情報システム科	2年	ICTクリエイターコース	18
19	情報システム科	2年	ITスペシャリスト・大学コース	19
20	情報システム科	2年	情報システムコース	20
21	情報システム科	2年	大学コース	21
22	経営情報科	2年	やりたいことを仕事にするコース	22
23	経営情報科	2年	マネジメントエキスパートコース	23
24	経営情報科	2年	SDGsビジネスコース	24
25	経営情報科	2年	大学コース	25
26	経営情報科	2年	経営情報コース	26
27	法律情報科	2年	法律情報コース	27
28	法律情報科	2年	大学コース	28
29	大学併修学科	4年		29
30	コンサート・イベント科	2年	イベント企画コース	30
31	コンサート・イベント科	2年	ステージ制作コース	31
32	コンサート・イベント科	2年	ステージ音響コース	32
33	コンサート・イベント科	2年	ステージ照明コース	33
34	コンサート・イベント科	2年	イベントビジネス・大学コース	34
35	コンサート・イベント科		大学コース	35
36	映像メディア学科	2年	放送メディアコース	36
37	映像メディア学科	2年	動画クリエイターコース	37
38	映像メディア学科	2年	映像ビジネス・大学コース	38
39	放送芸術科	2年	放送芸術コース	39
40	放送芸術科	2年	大学コース	40
41	音響芸術科	2年	音響芸術コース	41
42	音響芸術科	2年	大学コース	42
43	CGクリエイター科	2年	CGクリエイターコース	43
44		2年	大学コース	44

	学科名	修業 年数	コース	
45	デザイン科	2年	グラフィックデザインコース	45
46	デザイン科	2年	WEBデザインコース	46
47	デザイン科	2年	大学コース	47
48	Webデザイン科	2年	Webデザインコース	48
49	Webデザイン科	2年	大学コース	49
50	グラフィックデザイン科	2年	グラフィックデザインコース	50
51	グラフィックデザイン科	2年	大学コース	51
52	声優・演劇科	2年	声優コース	52
53	声優・演劇科	2年	俳優コース	53
54	声優・演劇科	2年	大学コース	54
55	スポーツビジネス科	2年	スポーツトレーナーコース	55
56	スポーツビジネス科	2年	スポーツインストラクターコース	56
57	スポーツビジネス科	2年	スポーツマネジメントコース	57
58	スポーツビジネス科	2年	サッカーエキスパートコース	58
59	スポーツビジネス科	2年	大学コース	59
60	ミュージック科	2年	ヴォーカル&シンガーソングライターコース	60
61	ミュージック科	2年	プレイヤーコース	61
62	ミュージック科	2年	サウンドデザイナーコース	62
63	ミュージック科	2年	大学コース	63
64	ゲームクリエイター科	2年	ゲームクリエイターコース	64
65	ゲームクリエイター科	2年	おもちゃクリエイターコース	65
66	ゲームクリエイター科	2年	大学コース	66
67	アニメ・マンガ科	2年	アニメーションコース	67
68	アニメ・マンガ科	2年	マンガコース	68
69	アニメ・マンガ科	2年	イラストレーションコース	69
70	アニメ・マンガ科	2年	大学コース	70
71	アニメーション科	2年	アニメーションコース	71
72	アニメーション科	2年	大学コース	72
73	マンガ科	2年	マンガコース	73
74	マンガ科	2年	イラストレーションコース	74
75	マンガ科	2年	大学コース	75
76	教育専攻科	4年	幼稚園教諭1種コース	76
77	教育専攻科	4年	小学校教諭1種コース	77
78	教育専攻科	4年	保健体育教諭1種コース	78
79	こども学科	3年	こども英語コース	79
80	こども学科	3年	こども音楽コース	80
81	こども学科	3年	こどもスポーツコース	81
82	こども学科	3年	大学コース	82
83	こども学科	3年	保育士・幼稚園教諭2種コース	83
84	幼児保育学科	2年	保育士・幼稚園教諭2種コース	84
85	幼児保育学科	2年	大学コース	85
86	幼児教育学科	2年	保育士・幼稚園教諭2種コース	86
87	幼児教育学科	2年	保育士コース	87
88	幼児教育学科	2年	大学コース	88
89	公務員科	2年	公務員コース	89
90	公務員科	2年	大学コース	90

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業専門		工業専門課程	研究科 昼間部（1年制）				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	864 単位時間	378 単位時間	0 単位時間	612 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20		16人	1人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 各学科 2 年間の学習内容をより確実な理解とするために総まとめを行い、業界に必要とされる各専門関係で活躍できるようための支援授業をおこなう。 技術者として必要とされる専門知識を確実に理解できるように支援している。 また、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	2人 (3.6%)	32人 (57.1%)	22人 (3.9%)
（主な就職、業界等） 設計事務所（株式会社ライフ設計事務所、池下設計、株式会社リムズ）、建設会社（（株）山口工業）、材料メーカー、電気設備の保守／管理／設計／施工 他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士、第2種・3種電気主任技術者など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	2人	3.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電気工学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	2124 単位時間	0 単位時間	2304 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (電気電子学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (電気電子学科の内 数)	兼任教員数 (電気電子学科の内 数)	総教員数 (電気電子学科 の内数)	
8 0 人		6 人	0 人	1 人	1 2 人	1 3 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	5人 (27.8%)	11人 (61.1%)	2人 (11.1%)
（主な就職、業界等） ・電気設備保守管理関係（ニチボー（株）、多摩総合、防災日本ビルコン（株）） ・電気工事関係（（株）伊豆電設、（株）向陽電気工業） ・通信工事関係（株式会社 NAVIO）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・第三種電気主任技術者 ・第一種電気工事士 ・第二種電気工事士 ・マナー・プロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	7人	21.2%
（中途退学の主な理由） ・進路変更の為・経済的理由による修学継続困難・体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 電子技術コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2268 単位時間	0 単位時間	2304 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (電気電子学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (電気電子学科の内 数)	兼任教員数 (電気電子学科の内 数)	総教員数 (電気電子学科 の内数)	
80人		4人	1人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	5人 (27.8%)	11人 (61.1%)	2人 (11.1%)
（主な就職、業界等） ・電気設備保守管理関係（ニチボー（株）、多摩総合、防災日本ビルコン（株）） ・電気工事関係（（株）伊豆電設、（株）向陽電気工業） ・通信工事関係（株式会社 NAVIO）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・第三種電気主任技術者 ・第一種電気工事士 ・第二種電気工事士 ・マナー・プロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	7人	21.2%
（中途退学の主な理由） ・進路変更の為・経済的理由による修学継続困難・体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	電気電子学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2376 単位時間	0 単位時間	2304 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (電気電子学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (電気電子学科の内 数)	兼任教員数 (電気電子学科の内 数)	総教員数 (電気電子学科 の内数)	
80人		0人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	5人 (27.8%)	11人 (61.1%)	2人 (11.1%)
（主な就職、業界等） ・電気設備保守管理関係（ニチボー（株）、多摩総合、防災日本ビルコン（株）） ・電気工事関係（（株）伊豆電設、（株）向陽電気工業） ・通信工事関係（株式会社 NAVIO）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・第三種電気主任技術者 ・第一種電気工事士 ・第二種電気工事士 ・マナー・プロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	7人	21.2%
（中途退学の主な理由） ・進路変更の為・経済的理由による修学継続困難・体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	航空学科 昼間制（2年制） パイロットコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	4230 単位時間	0 単位時間	612 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (航空学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (航空学科の内数)	兼任教員数 (航空学科の内数)	総教員数 (航空学科の内 数)	
4 0 人		3 人	0 人	1 人	9 人	1 0 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	4人 (57.1%)	1人 (14.3%)	2人 (28.6%)
（主な就職、業界等） ・公務員（陸上自衛隊）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・航空無線通信士 ・ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 2・3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	航空学科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	4480 単位時間	0 単位時間	612 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (航空学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (航空学科の内数)	兼任教員数 (航空学科の内数)	総教員数 (航空学科の内 数)	
40人		2人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	4人 (57.1%)	1人 (14.3%)	2人 (28.6%)
（主な就職、業界等） ・公務員（陸上自衛隊）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・航空無線通信士 ・ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 2・3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制（2年制） 建築設計コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2 3 0 4 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
8 0 人		1 2 人	0 人	1 人	1 2 人	1 3 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3%)	5人 (19.2%)	4人 (15.5%)
（主な就職、業界等） 建設関係（杉本興業株式会社）、デベロッパー（株式会社フィード） 土木関係（東京舗装工業株式会社）他			
（就職指導内容） 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4%
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的理由により継続的な学習が困難な為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制（2年制） 建築施工コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2304 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
80人		0人	0人	1	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3%)	5人 (19.2%)	4人 (15.5%)
（主な就職、業界等） 建設関係（杉本興業株式会社）、デベロッパー（株式会社フィード） 土木関係（東京舗装工業株式会社）			
（就職指導内容） 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制（2年制） 情報＆環境建築コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2304 単位時間	1188 単位時間	342 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
80人		0人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) ・ 授業時間外での特別講座の開催 ・ 特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・ 個別面談、スクールカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3%)	5人 (19.2%)	4人 (15.5%)
（主な就職、業界等） 建設関係（杉本興業株式会社）、デベロッパー（株式会社フィード） 土木関係（東京舗装工業株式会社）			
（就職指導内容） 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4%
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的理由により継続的な学習が困難な為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制 (2年制) 一級建築士・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2304 単位時間	1440 単位時間	342 単位時間	1908 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
80人		2人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) ・ 授業時間外での特別講座の開催 ・ 特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・ 個別面談、スクールカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3%)	5人 (19.2%)	4人 (15.5%)
（主な就職、業界等） 建設関係（杉本興業株式会社）、デベロッパー（株式会社フィード） 土木関係（東京舗装工業株式会社）他			
（就職指導内容） 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4%
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的理由により継続的な学習が困難な為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制 （2年制） 建築工学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2160 単位時間 単位	1206 単位 時間	216 単位 時間	810 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
80人		9人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) ・授業時間外での特別講座の開催 ・特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 ・個別面談、スクールカウンセリングの実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3 %)	5人 (19.2 %)	4人 (15.5 %)
（主な就職、業界等） 建設関係（杉本興業株式会社）、デベロッパー（株式会社フィード） 土木関係（東京舗装工業株式会社）他			
（就職指導内容） 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4 %
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的理由により継続的な学習が困難になった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制（2年制） 福祉住環境デザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2160 単位時間/単位	1188 単位 時間	72 単位時 間	900 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
80人		0人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) - 授業時間外での特別講座の開催 - 特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 - 個別面談、スクールカウンセリングの実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3 %)	5人 (19.2 %)	4人 (15.5 %)
（就職指導内容） 個人面談、校内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（就職指導内容） 個人面談、校内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4 %
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的理由により継続的な学習が困難になった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	建築学科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2160 <u>単位時間</u> / 単位	1080 単位 時間	72 単位時 間	1008 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			単位時間				
生徒総定員数 (建築学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (建築学科の内数)	兼任教員数 (建築学科の内数)	総教員数 (建築学科の内 数)	
80人		2人	0人	1人	14人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) - 授業時間外での特別講座の開催 - 特別講座期間を活用して学修支援授業の実施 - 個別面談、スクールカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	17人 (65.3 %)	5人 (19.2 %)	4人 (15.5 %)
（主な就職、業界等） 住宅メーカー			
（就職指導内容） 個人面談、学内企業説明会開催、試験対策講座（SPI・一般常識）、マナー講座、エントリーシート・履歴書添削、模擬面接等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築2級施工管理技士（学科合格）、建築CAD検定、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4 %
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的理由により継続的な学習が困難になった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	インテリアデザイン科 昼間制（2年制） インテリアデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	684 単位時間	540 単位時間	1368 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (インテリアデザイン 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数)	兼任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数))	総教員数 (インテリアデ ザイン科の内 数)	
4 0 人		6 人	0 人	1 人	1 0 人	1 1 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	6人 (33.3%)	4人 (22.2%)	8人 (44.5%)
（主な就職、業界等） インテリアリフォーム業（株式会社みらいアーキテクト）、家具製作（天野家具）他			
（就職指導内容） 個キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） インテリアコーディネーター、建築 CAD 検定、色彩士、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8%
（中途退学の主な理由） 体調不良の為、家族の事情の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	インテリアデザイン科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1 7 2 8 単位時間	936 単位時間	540 単位時間	1368 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (インテリアデザイン 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数)	兼任教員数 (インテリアデザイ ン科の内数))	総教員数 (インテリアデ ザイン科の内 数)	
4 0 人		3 人	2 人	1 人	1 0 人	1 1 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	6人 (33.3%)	4人 (22.2%)	8人 (44.5%)
（主な就職、業界等） インテリアリフォーム業（株式会社みらいアーキテクト）、家具製作（天野家具）他			
（就職指導内容） 個キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） インテリアコーディネーター、建築 CAD 検定、色彩士、商業施設士補、積算士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8%
（中途退学の主な理由） 体調不良の為、家族の事情の為 （中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工 業		工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) ITエンジニアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	792 単位時間	360 単位時間	936 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の 内数)	兼任教員数 (情報システム科の 内数)	総教員数 (情報システム 科の内数)	
80人		7人	0人	2人	12人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	22人 (56.4%)	12人 (30.8%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） システム開発企業（株式会社エム・フィールド、株式会社アルテックス） ソフトウェア開発企業（株式会社富士ソフト、株式会社エスアイイー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	11人	15.1%
（中途退学の主な理由） ・体調によるもの。 ・進路変更によるもの。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) AI システムコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	828 単位時間	360 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の内 数)	兼任教員数 (情報システム科の内 数)	総教員数 (情報システム 科の内数)	
8 0 人		1 人	0 人	2 人	1 2 人	1 4 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 科目ごとに半期中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	22人 (56.4%)	12人 (30.8%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） システム開発企業（株式会社エム・フィールド、株式会社アルテックス） ソフトウェア開発企業（株式会社富士ソフト、株式会社エスアイイー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	11人	15.1%
（中途退学の主な理由） ・体調不良によるもの。 ・進路変更によるもの。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) ICT クリエーターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	828 単位時間	360 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の内 数)	兼任教員数 (情報システム科の内 数)	総教員数 (情報システム 科の内数)	
8 0 人		1 人	0 人	2 人	1 2 人	1 4 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	22人 (56.4%)	12人 (30.8%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） システム開発企業（株式会社エム・フィールド、株式会社アルテックス） ソフトウェア開発企業（株式会社富士ソフト、株式会社エスアイイー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	11人	15.1%
（中途退学の主な理由） ・体調によるもの。 ・進路変更によるもの。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) ITスペシャリスト・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1080 単位時間	360 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の内 数)	兼任教員数 (情報システム科の内 数)	総教員数 (情報システム 科の内数)	
80人		10人	0人	2人	12人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）
科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	22人 (56.4%)	12人 (30.8%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） システム開発企業（株式会社エム・フィールド、株式会社アルテックス） ソフトウェア開発企業（株式会社富士ソフト、株式会社エスアイイー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	11人	15.1%
（中途退学の主な理由） ・体調によるもの。 ・進路変更によるもの。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	情報システム科 昼間制 (2年制) 情報システムコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間 単位	828 単 位時間	0 単位時間	936 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の 内数)	兼任教員数 ((情報システム科 の内数))	総教員数 ((情報システム 科の内数)	
8 0 人		1 6 人	1 人	2 人	10 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	22人 (56.4%)	12人 (30.8%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） システム開発企業（株式会社エム・フィールド、株式会社アルテックス） ソフトウェア開発企業（株式会社富士ソフト、株式会社エスアイイー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	11人	15.1%
（中途退学の主な理由） ・体調によるもの。 ・進路変更によるもの。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工 業		工業専門課程		情報システム科 昼間制 (2年制) 大学コース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1 7 2 8 単位時間/単位		828 単位時間	0 単位時間	936 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
				単位時間					
生徒総定員数 (情報システム科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (情報システム科の内 数)	兼任教員数 ((情報システム科 の内数))	総教員数 ((情報システム科の内 数))			
8 0 人		7 人	0 人	2 人	1 2 人	1 4 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

（概要）

科目ごとに半期で中間評価を提示し、学年末に総合評価を行う。授業外でプリント・解答練習などで資格取得のサポートを行っている。学生生活指導については、適宜必要に応じて担任・副担任により行い、学生からの相談・面談も随時行う。学内PBLプログラムの紹介など、意欲のある学生への積極的な学習支援を行っている。また、就職指導についてはキャリアセンタと連携して、希望する職種への就職をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	22人 (56.4%)	12人 (30.8%)	5人 (12.8%)
（主な就職、業界等） システム開発企業（株式会社エム・フィールド、株式会社アルテックス） ソフトウェア開発企業（株式会社富士ソフト、株式会社エスアイイー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（ITパスポート・基本情報技術者） 情報検定（情報活用検定2級・3級）、ビジネス能力検定2級・3級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	11人	15.1%
（中途退学の主な理由） ・体調によるもの。 ・進路変更によるもの。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) やりたいことを仕事にする コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3708 単位時間	576 単位時間	540 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の 内数)	
60人		2人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	30人 (40%)	4人 (60%)	2人 (0%)
（主な就職、業界等） 一般事務職（衆和産業株式会社、丸忠ホーム株式会社、三島光産株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコール検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	6人	9.2%
（中途退学の主な理由） ・経済的理由による修学継続困難 ・日本のコロナウイルスの感染状況を避けるため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) マネジメントエススパート コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	3708 単位時間	576 単位時間	540 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の 内数)	
6 0 人		3 人	0 人	1 人	1 0 人	1 1 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	30人 (40%)	4人 (60%)	2人 (0%)
（主な就職、業界等） 一般事務職（衆和産業株式会社、丸忠ホーム株式会社、三島光産株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコル検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	6人	9.2%
（中途退学の主な理由） ・経済的理由による修学継続困難 ・日本のコロナウイルスの感染状況避けるため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) SDGs ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3708 単位時間	576 単位時間	540 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の 内数)	
60人		0人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	30人 (40%)	4人 (60%)	2人 (0%)
（主な就職、業界等） 一般事務職（衆和産業株式会社、丸忠ホーム株式会社、三島光産株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコール検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	6人	9.2%
（中途退学の主な理由） ・経済的理由による修学継続困難 ・日本のコロナウイルスの感染状況为了避免		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	3960 単位時間	576 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内 数)	総教員数 (経営情報科の 内数)	
6 0 人		2 3 人	1 4 人	1 人	1 0 人	1 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	30人 (40%)	4人 (60%)	2人 (0%)
（主な就職、業界等） 一般事務職（衆和産業株式会社、丸忠ホーム株式会社、三島光産株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコル検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	6人	9.2%
（中途退学の主な理由） ・経済的理由による修学継続困難 ・日本のコロナウイルスの感染状況为了避免のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	経営情報科 昼間制 (2年制) 経営情報コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (経営情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (経営情報科の内数)	兼任教員数 (経営情報科の内数)	総教員数 (経営情報科の内数)	
60人		4人	3人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	30人 (40%)	4人 (60%)	2人 (0%)
（主な就職、業界等） 一般事務職（衆和産業株式会社、丸忠ホーム株式会社、三島光産株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） リテール・マーケティング（販売士）検定試験、全経簿記能力検定試験、日本語能力試験、Microsoft Office Specialist、簿記検定、FP技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス、マナー・プロトコール検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	6人	9.2%
（中途退学の主な理由） ・経済的理由による修学継続困難 ・日本のコロナウイルスの感染状況を避けるため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	法律情報科 昼間制 (2年制) 法律情報コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	4428 単位時間	0 単位時間	36 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (法律情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (法律情報科の内 数)	兼任教員数 (法律情報科の内 数)	総教員数 (法律情報科の 内数)	
60人		1人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	19人 (95%)	1人 (5%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 弁護士業界（弁護士法人グレイス東京事務所）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 宅地建物取引士資格試験、全経簿記検定試験、Microsoft Office Specialist 試験、マナー・プロトコール検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2.5%
（中途退学の主な理由） 入学後、遅刻欠席もなく登校をしていたが、6月頃を境に、全く登校がなくなってしまった。本人と連絡は取れており話は出来ていたが、精神的な面から、登校が困難となってしまう。転科を進める等、長期に渡り様々なアプローチを試みたが、改善はみられなかった。元々自身で選んだ分野でなく、保護者に勧められ入学したことが原因でないかと考えられる。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	法律情報科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	4680 単位時間	0 単位時間	36 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (法律情報科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (法律情報科の内 数)	兼任教員数 (法律情報科の内 数)	総教員数 (法律情報科の内 数)	
60人		20人	8人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	19人 (95%)	1人 (5%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 弁護士業界（弁護士法人グレイス東京事務所）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 全経簿記検定試験、Microsoft Office Specialist 試験、中央大学通信教育課程科目等履修生修了、マナー・プロトコール検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2.5%
（中途退学の主な理由） 大学受験が本意的な結果でなく、本学大学コースへ入学したが、やはり通学型の大学への思いが捨てられず、関西にある大阪経済法科大学を受験、合格したため退学の手続きをすることになった。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	大学併修学科 昼間制 (4年制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	13644 単位時間	1152 単位時間	792 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 6 0 人		2 5 3 人	4 0 人	2 人	1 1 人	1 3 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) クラス担任制 各種資格対策授業の支援 キャリアセンターと担任による就職支援 カウンセラーによるサポート 海外研修・留学支援 大学 (通信教育課程) 科目のレポート・科目修得試験の支援	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (100%)	1人 (2.1%)	28人 (59.6%)	18人 (38.3%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア開発（株式会社ユーベスト）、システム開発（株式会社CIJ ネクスト）、 ゲーム総合メディア（株式会社 VOYAGE Lighthouse Studio）他			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、個人指導及び就職対策講座、実践指導（模擬面接・会社訪問指導） をホームルームとキャリアセンターと共同で実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、リテール・マーケティング販売士検定、ビジネス能力検定（B 検）、 Microsoft Office Specialist、宅地建物取引士、行政書士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
182人	17人	9.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為、体調不良の為、コロナにより履修が難しくなった（留学生）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制（2年制） イベント企画コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
120人		2人	0人	2人	30人	32人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制（2年制） ステージ制作コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
120人		18人	1人	2人	30人	32人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、体調不良、進路変更が主な理由 （中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制（2年制） ステージ音響コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
120人		8人	0人	2人	30人	32人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制（2年制） ステージ照明コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1296 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
120人		17人	0人	2人	30人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制（2年制） イベントビジネス・大学 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1548 単位時間	0 単位時間	1080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベン ト科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
120人		13人	0人	2人	30人	32人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（就職指導内容） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間 単位	1080 単位時間	0 単位時間	1116 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (コンサート・イベント 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (コンサート・イベン ト科の内数)	兼任教員数 (コンサート・イベ ント科の内数)	総教員数 (コンサート・イ ベント科の内数)	
1 2 0 人		9 人	0 人	2 人	3 0 人	3 2 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オプショナル」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 放送メディアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1044 単位時間	0 単位時間	1188 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (映像メディア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (映像メディア科の内 数)	兼任教員数 (映像メディア科の内 数)	総教員数 (映像メディア 科の内数)	
30人		8人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 放送芸術科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	2人 (8%)	10人 (40%)	13人 (52%)
(主な就職、業界等) 放送業界（株式会社スピード・ワン、株式会社ゼロステーション、株式会社 VAMP、株式会社コスモ・スペース）他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナー・プロトコール検定、映像音響処理技術者資格認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度 放送芸術科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由) 別学科から移動していたが、学科での学ぶ内容が違ったため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 動画クリエイターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1044 単位時間	0 単位時間	1188 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (映像メディア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (映像メディア科の内 数)	兼任教員数 (映像メディア科の内 数)	総教員数 (映像メディア 科の内数)	
30人		6人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)
専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度放送芸術科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	2人 (8%)	10人 (40%)	13人 (52%)
（主な就職、業界等） 放送業界（株式会社スピード・ワン、株式会社ゼロステーション、株式会社 VAMP、株式会社コスモ・スペース）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、映像音響処理技術者資格認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.6%
（中途退学の主な理由） 別学科から移動していたが、学科での学ぶ内容が違ったため。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	映像メディア学科 昼間制 (2年制) 映像ビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	936 単位時間	0 単位時間	1116 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (映像メディア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (映像メディア科の 内数)	兼任教員数 (映像メディア科の 内数)	総教員数 (映像メディア 科の内数)	
30人		5人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 放送芸術家の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	2人 (8%)	10人 (40%)	13人 (52%)
(主な就職、業界等) 放送業界（株式会社スピード・ワン、株式会社ゼロステーション、株式会社 VAMP、株式会社コスモ・スペース）他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナー・プロトコル検定、映像音響処理技術者資格認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由) 別学科から移動していたが、学科での学ぶ内容が違ったため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	放送芸術科 昼間制 (2年制) 放送芸術コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位	720 単位時間	0 単位時間	1044 単位時間	0 単位時	0 単位時
			単位時間				
生徒総定員数 (放送芸術科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (放送芸術科の内 数)	兼任教員数 (放送芸術科の内 数)	総教員数 (放送芸術科の内 数)	
30人		7人	0人	2人	14人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	放送芸術科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	720 単位時間	0 単位時間	1044 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (放送芸術科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (放送芸術科の内 数)	兼任教員数 (放送芸術科の内 数)	総教員数 (放送芸術科の 内数)	
30人		6人	0人	2人	14人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	9人 (14.5%)	48人 (77.4%)	5人 (8.1%)
（主な就職、業界等） 音楽イベント業界（四谷アウトブレイク、株式会社夢音プロダクション、株式会社 SHOW DESIGN、有限会社ザックス）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、足場組立等作業、フルハーネス型墜落制止用器具			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	4人	3.9%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由、体調不良、進路変更等が主な理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	音響芸術科 昼間制（2年制） 音響芸術コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	900 単位時間		1332 単位時間		
				単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (音響芸術科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (音響芸術科の内 数)	兼任教員数 (音響芸術科の内 数)	総教員数 (音響芸術科の内 数)	
80人		22人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	3人 (10.7%)	14人 (50%)	11人 (39.3%)
（主な就職、業界等） 音響関連（プロセスタジオ株式会社、株式会社 ILCA、（株）東芸エンタテインメント）、 制作（株式会社ジェー・シー・スタッフ）、チケット販売関連（ローソンエンタテインメント）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、Pro Tool 技術認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	3人	5.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	音響芸術科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1152 単位時間		1332 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (音響芸術科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (音響芸術科の内 数)	兼任教員数 (音響芸術科の内 数)	総教員数 (音響芸術科の内 数)	
80人		17人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	3人 (10.7%)	14人 (50%)	11人 (39.3%)
（主な就職、業界等） 音響関連（プロセスタジオ株式会社、株式会社 ILCA、（株）東芸エンタテインメント）、 制作（株式会社ジェー・シー・スタッフ）、チケット販売関連（ローソンエンターテインメント）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定、映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、Pro Tool 技術認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	3人	5.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	CGクリエイター科 昼間制（2年制） CGクリエイターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	144 単位時間	0 単位時間	2088 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (CGクリエイター科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	総教員数 (CGクリエイター科の内数)	
60人		16人	1人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	6人 (54.5%)	3人 (27.3%)	2人 (18%)
（主な就職、業界等） 映像制作会社（株式会社プラスミック・シーエフピー、株式会社MINDSET）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	1人	3.6%
（中途退学の主な理由） 病状が悪化し療養のため。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	CGクリエイター科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	396 単位時間	0 単位時間	2088 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (CGクリエイター科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (CGクリエイター 科の内数)	総教員数 (CGクリエイ ター科の内数)	
60人		9人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	6人 (54.5%)	3人 (27.3%)	2人 (18%)
（主な就職、業界等） 映像制作会社（株式会社プラスミック・シーエフピー、株式会社 MINDSET）			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	1人	3.6%
（中途退学の主な理由） 病状が悪化し療養のため。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	デザイン科 昼間制 (2年制) グラフィックデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	288 単位時間		2916 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (デザイン科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (デザイン科の内数)	兼任教員数 (デザイン科の内数)	総教員数 (デザイン科の 内数)	
100人		4人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 グラフィックデザイン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	2 人 (22%)	4 人 (44%)	3 人 (34%)
（主な就職、業界等） デザイン系（(株)storyteller、ウチノ看板株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定 3 級、マナープロトコール検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度 グラフィックデザイン科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	デザイン科 昼間制 (2年制) We bデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 7 2 8 単位時間	288 単位時間		2916 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (デザイン科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (デザイン科の内 数)	兼任教員数 (デザイン科の内 数)	総教員数 (デザイン科の 内数)	
1 0 0 人		0 人	0 人	2 人	1 3 人	1 5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 WEB デザイン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (83.3%)	1 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア開発（株式会社アクロウェーブネット、株式会社チームファクトリー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度 WEB デザイン科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	デザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	540 単位時間		2916 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (デザイン科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (デザイン科の内 数)	兼任教員数 (デザイン科の内 数)	総教員数 (デザイン科の内 数)	
100人		2人	0人	2人	13人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 グラフィックデザイン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	2 人 (22%)	4 人 (44%)	3 人 (34%)
(主な就職、業界等) デザイン系 ((株)storyteller、ウチノ看板株式会社) 他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策 (SPI) ・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 色彩検定 3 級、マナープロトコール検定 3 級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度 グラフィックデザイン科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1 年に 2 回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	Webデザイン科 昼間制 (2年制) Webデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	72単位 時間	144単 位時間	1548 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (Webデザイン科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (Webデザイン科 の内数)	兼任教員数 (Webデザイン科 の内数)	総教員数 (Webデザイ ン科の内数)	
20人		6人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (83.3%)	1 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア開発（株式会社アクロウェーブネット、株式会社チームファクトリー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	Webデザイン科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位	72単位 時間	144単 位時間	1548 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (Webデザイン科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (Webデザイン科 の内数)	兼任教員数 (Webデザイン科 の内数)	総教員数 (Webデザイ ン科の内数)	
20人		4人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (83.3%)	1 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア開発（株式会社アクロウェーブネット、株式会社チームファクトリー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	グラフィックデザイン科 昼間制（2年制） グラ フィックデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間／単位	288 単位 時間	216 単位 時間	360 単位 時間	単位時間	576 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (グラフィックデザイ ン科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (グラフィックデザ イン科の内数)	兼任教員数 (グラフィックデザ イン科の内数)	総教員数 (グラフィック デザイン科の内 数)	
20人		2人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

（概要）

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	2人 (22%)	4人 (44%)	3人 (34%)
（主な就職、業界等） 株式会社イミオ、株式会社ねこのてカンパニー、株式会社 bigones、株式会社カオルデザイン、株式会社 セブン・ブルックス、			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級、マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	1人	7.1 %
（中途退学の主な理由） 体調不良による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	グラフィックデザイン科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	288 単位 時間	216 単位 時間	360 単位 時間	単位時間	576 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (グラフィックデザ イン科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (グラフィックデザ イン科の内数)	兼任教員数 (グラフィックデザ イン科の内数)	総教員数 (グラフィック デザイン科の内 数)	
20人		2人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	2人 (22%)	4人 (44%)	3人 (34%)
（主な就職、業界等） 株式会社イミオ、株式会社ねこのてカンパニー、株式会社 bigones、株式会社カオルデザイン、株式会社 セブン・ブルックス、			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級、マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	1人	7.1 %
（中途退学の主な理由） 体調不良による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生達の遅刻・欠勤・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	声優・演劇科 昼間制（2年制） 声優コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	396 単位時間		1656 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (声優・演劇科の内 数)	兼任教員数 (声優・演劇科の内 数)	総教員数 (声優・演劇科 の内数)	
80人		14人	0人	1人	11人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	2人 (10.5%)	1人 (5.2%)	16人 (84.3%)
（主な就職、業界等） アミューズメント関係（Fairy Line 株式会社）			
（就職指導内容） 入学直後からオーディション対策講座を開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くこと の理解への意識付けと、俳優、声優として必要な業界理解を行う。また、模擬オーディ ションと並行し、就職希望者にも対応するべく、キャリアセンターと協力し、就職模 擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディ スカッションなどの指導、小論文や履歴書添削も行い、就職希望者に備える。また、2年 時には学内に企業を呼んでの所属オーディションを受け、キャリアについて万全な体制 で挑んでいる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	7人	17.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指 導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージ を見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生 生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学 生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	声優・演劇科 昼間制（2年制） 俳優コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	396 単位時間		1656 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (声優・演劇科の内 数)	兼任教員数 (声優・演劇科の内 数)	総教員数 (声優・演劇科 の内数)	
80人		5人	0人	1人	11人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	2人 (10.5%)	1人 (5.2%)	16人 (84.3%)
（主な就職、業界等） アミューズメント関係（Fairy Line 株式会社）			
（就職指導内容） 入学直後からオーディション対策講座を開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けと、俳優、声優として必要な業界理解を行う。また、模擬オーディションと並行し、就職希望者にも対応するべく、キャリアセンターと協力し、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導、小論文や履歴書添削も行い、就職希望者に備える。また、2年時には学内に企業を呼んでの所属オーディションを受け、キャリアについて万全な体制で挑んでいる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	7人	17.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	声優・演劇科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	648 単位時間		1656 単位時間		
				単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (声優・演劇科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (声優・演劇科の内 数)	兼任教員数 (声優・演劇科の内 数)	総教員数 (声優・演劇科 の内数)	
80人		4人	0人	1人	11人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	2人 (10.5%)	1人 (5.2%)	16人 (84.3%)
（主な就職、業界等） アミューズメント関係（Fairy Line 株式会社）			
（就職指導内容） 入学直後からオーディション対策講座を開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くこと の理解への意識付けと、俳優、声優として必要な業界理解を行う。また、模擬オーディ ションと並行し、就職希望者にも対応するべく、キャリアセンターと協力し、就職模 擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディ スカッションなどの指導、小論文や履歴書添削も行い、就職希望者に備える。また、2年 時には学内に企業を呼んでの所属オーディションを受け、キャリアについて万全な体制 で挑んでいる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	7人	17.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指 導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージ を見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生 生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学 生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制（2年制） スポーツトレーナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2340 単位時間	720 単位時間	2844 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)	
120人		11人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	10人 (32.3%)	21人 (67.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界（株式会社 Trust Fitness、株式会社 ASAKA、株式会社 ドクタートレーニング）医療トレーナー（ひつじ接骨院 蓮田院、SBC メディカルグループ）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコール検定、サッカーC級指導者ライセンス、サッカー審判4級ライセンス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	7人	11.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更や経済的理由による修学継続困難の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制（2年制） スポーツインストラクター コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2340 単位時間	720 単位時間	2844 位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)	
120人		0人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	10人 (32.3%)	21人 (67.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界（株式会社 Trust Fitness、株式会社 ASAKA、株式会社 ドクタートレーニング）医療トレーナー（ひつじ接骨院 蓮田院、SBC メディカルグループ）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコル検定、サッカーC級指導者ライセンス、サッカー審判4級ライセンス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	7人	11.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更や経済的理由による修学継続困難の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制（2年制） スポーツマネジメント コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2340 単位時間	720 単位時間	2844 位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビ ネス科の内数)	
120人		8人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	10人 (32.3%)	21人 (67.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界（株式会社 Trust Fitness、株式会社 ASAKA、株式会社 ドクタートレーニング）医療トレーナー（ひつじ接骨院 蓮田院、SBC メディカルグループ）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコール検定、サッカーC級指導者ライセンス、サッカー審判4級ライセンス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	7人	11.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更や経済的理由による修学継続困難の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制（2年制） サッカーエキスパート コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2340 単位時間	720 単位時間	2844 位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)	
120人		6人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	10人 (32.3%)	21人 (67.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界（株式会社 Trust Fitness、株式会社 ASAKA、株式会社 ドクタートレーニング）医療トレーナー（ひつじ接骨院 蓮田院、SBC メディカルグループ）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコル検定、サッカーC級指導者ライセンス、サッカー審判4級ライセンス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	7人	11.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更や経済的理由による修学継続困難の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	スポーツビジネス科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2592 単位時間	720 単位時間	2844 位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (スポーツビジネス科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	兼任教員数 (スポーツビジネス 科の内数)	総教員数 (スポーツビジ ネス科の内数)	
120人		10人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	10人 (32.3%)	21人 (67.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スポーツ業界（株式会社 Trust Fitness、株式会社 ASAKA、株式会社 ドクタートレーニング）医療トレーナー（ひつじ接骨院 蓮田院、SBC メディカルグループ）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、GFI、BLS（一次救命）、販売士（ビジネスマナー）、MOS（パソコン検定）、マナープロトコール検定、サッカーC級指導者ライセンス、サッカー審判4級ライセンス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	7人	11.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更や経済的理由による修学継続困難の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ミュージック科 昼間制（2年制） ヴォーカル＆シンガーソン グライターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
		1728 単位時間	792 単位時間		2772 単位時間		
2年	昼						
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)	
60人		5人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	12人 (85.7%)	1人 (7.1%)	1人 (7.2%)
（主な就職、業界等） 音楽関連			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	12人	33.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更・家庭の事情（金銭面）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ミュージック科 昼間制（2年制） プレイヤーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	792 単位時間		2772 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 （ミュージック科の内 数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （ミュージック科の内 数）	兼任教員数 （ミュージック科の内 数）	総教員数 （ミュージック 科の内数）	
60人		4人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	12人 (85.7%)	1人 (7.1%)	1人 (7.2%)
（主な就職、業界等） 音楽業界			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	12人	33.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更・家庭の事情（金銭面）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ミュージック科 昼間制（2年制） サウンドデザイナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	792 単位時間		2772 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)	
60人		4人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	12人 (85.7%)	1人 (7.1%)	1人 (7.2%)
（主な就職、業界等） 音楽業界			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	12人	33.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更・家庭の事情（金銭面）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ミュージック科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
		1 7 2 8 単位時間	1044 単位時間		2772 単位時間		
2年	昼		単位時間				
生徒総定員数 (ミュージック科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ミュージック科の 内数)	兼任教員数 (ミュージック科の 内数)	総教員数 (ミュージック 科の内数)	
60人		12人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	12人 (85.7%)	1人 (7.1%)	1人 (7.2%)
（主な就職、業界等） 音楽業界			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナー・プロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	12人	33.3%
（中途退学の主な理由）。 進路変更・家庭の事情（金銭面） （中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ゲームクリエイター科 昼間制（2年制） ゲームクリエイターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	396		3024		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
単位時間							
生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	総教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	
80人		13人	1人	2人	12人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要)	様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法	
(概要)	様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準	
(概要)	様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等	
(概要)	専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	23人 (79.3%)	6人 (20.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ゲーム開発業界（株式会社 Asu Gate）、玩具制作（㈱サンディー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・C、C++言語などのプログラムスキル、・3DCG、イラストの制作スキル・企画書、仕様書の制作スキル、・ゲームエンジンでの制作スキル・DTMでのサウンド制作スキル、・プレゼンテーションスキルなどの修得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	9人	15%
（中途退学の主な理由） 体調不良の為、進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ゲームクリエイター科 昼間制（2年制） おもちゃクリエイター コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単時間	396 単位時間		3024 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (ゲームクリエイター 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	兼任教員数 (ゲームクリエイター 科の内数)	総教員数 (ゲームクリエイター 科の内 数)	
80人		2人	0人	2人	12人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	23人 (79.3%)	6人 (20.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ゲーム開発業界（株式会社 Asu Gate）、玩具制作（㈱サンディー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・3DCADでのモデリングスキル、・フェギュア制作スキル、・マスターモデル制作スキル、・塗装スキル、・企画書、仕様書の制作スキル、・スケジュール管理能力などの修得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	9人	15%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	ゲームクリエイター科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	648 単位時間		3024 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 （ゲームクリエイター 科の内数）		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 （ゲームクリエイター 科の内数）	兼任教員数 （ゲームクリエイター 科の内数）	総教員数 （ゲームクリエイター 科の内数）	
80人		20人	0人	2人	12人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	23人 (79.3%)	6人 (20.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ゲーム開発業界（株式会社Asu Gate）、玩具制作（㈱サンディー）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・C、C++言語などのプログラマスキル、・3DCG、イラストの制作スキル・企画書、仕様書の制作スキル、・ゲームエンジンでの制作スキル・DTMでのサウンド制作スキル、・プレゼンテーションスキルなどの修得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	9人	15%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制（2年制） アニメーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	432 単位時間		4320 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ 科の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)	
140人		2人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 アニメーション科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	1 人 (12%)	7 人 (88%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） アニメーション制作会社（株式会社ライデンフィルム、有限会社 Wish、株式会社ディオメディア、株式会社ボンズ）、アニメーション関連企業			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度アニメーション科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 4 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	432 単位時間		4320 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)	
140人		0人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度マンガ科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	4人 (25%)	4人 (25%)	8人 (50%)
(主な就職、業界等) アミューズメント運営（ジョイパックレジャー株式会社）他			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナープロトコール検定3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2021 年度マンガ科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) ・1年次より心身的な病気が原因が続き、学修が継続出来ないため退学となる		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	432 単位時間		4320 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)	
140人		3人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)
専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 マンガ科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	4人 (25%)	4人 (25%)	8人 (50%)
（主な就職、業界等） アミューズメント運営（ジョイパックレジャー株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度マンガ科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
（中途退学の主な理由） ・1年次より心身的な病気が原因が続き、学修が継続出来ないため退学となる		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメ・マンガ科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	684 単位時間		4320 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメ・マンガ科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	兼任教員数 (アニメ・マンガ科 の内数)	総教員数 (アニメ・マン ガ科の内数)	
140人		0人	0人	1人	15人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 マンガ科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	4人 (25%)	4人 (25%)	8人 (50%)
（主な就職、業界等） アミューズメント運営（ジョイパックレジャー株式会社）他			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021 年度マンガ科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
（中途退学の主な理由） ・1年次より心身的な病気が原因が続き、学修が継続出来ないため退学となる		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメーション科 昼間制（2年制） アニメーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位時間	324 単位 時間	単位時間	1512 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメーション科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメーション科 の内数)	兼任教員数 (アニメーション科 の内数)	総教員数 (アニメーション 科の内数)	
30人		6人	2人	2人	7人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	1人 (12%)	7人 (88%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） アニメーション制作会社（株式会社セブンアークス、株式会社動画工房、株式会社ナット、有限会社スタジオエル、株式会社ぎゃろっぷ、株式会社シルバーリンク、株式会社マカリア、株式会社寿門堂）、アニメーション関連企業			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	アニメーション科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位	324 単位 時間	単位時間	1512 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (アニメーション科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (アニメーション科 の内数)	兼任教員数 (アニメーション科 の内数)	総教員数 (アニメーション 科の内数)	
30人		0人	0人	2人	7人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	1人 (12%)	7人 (88%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） アニメーション制作会社（株式会社セブンアークス、株式会社動画工房、株式会社ナット、有限会社スタジオエル、株式会社ぎやろっぷ、株式会社シルバーリンク、株式会社マカリア、株式会社寿門堂）、アニメーション関連企業			
（就職指導内容） キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	マンガ科 昼間制 (2年制) マンガコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位	288単 位時間	単位時間	1440 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (マンガ科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (マンガ科の内数)	兼任教員数 (マンガ科の内 数)	総教員数 (マンガ科の内 数)	
40人		0人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	4人 (25%)	4人 (25%)	8人 (50%)
（主な就職、業界等） 漫画家、漫画アシスタント（講談社、集英社、小学館、白泉社等） イラストレーター、似顔絵師			
（就職指導内容） キャリアセンターによるキャリアガイダンス。 就職も士試験、一般常識対策、適性試験対策（SPA）・集団及び個人面接・グループディスカッション等の指導や、小論文や履歴書添削も行いバックアップ体制をとる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8 %
（中途退学の主な理由） 身心的な疾病による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	マンガ科 昼間制 (2年制) イラストレーション コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位	288単 位時間	単位時間	1440 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (マンガ科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (マンガ科の内数)	兼任教員数 (マンガ科の内 数)	総教員数 (マンガ科の内 数)	
40人		7人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	4人 (25%)	4人 (25%)	8人 (50%)
（主な就職、業界等） 漫画家、漫画アシスタント（講談社、集英社、小学館、白泉社等） イラストレーター、似顔絵師			
（就職指導内容） キャリアセンターによるキャリアガイダンス。 就職も士試験、一般常識対策、適性試験対策（SPA）・集団及び個人面接・グループディスカッション等の指導や、小論文や履歴書添削も行いバックアップ体制をとる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8 %
（中途退学の主な理由） 身心的な疾病による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		芸術専門課程	マンガ科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間/単位	288単 位時間	単位時間	1440 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (マンガ科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (マンガ科の内数)	兼任教員数 (マンガ科の内 数)	総教員数 (マンガ科の内 数)	
40人		3人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院祭」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	4人 (25%)	4人 (25%)	8人 (50%)
（主な就職、業界等） 漫画家、漫画アシスタント（講談社、集英社、小学館、白泉社等） イラストレーター、似顔絵師			
（就職指導内容） キャリアセンターによるキャリアガイダンス。 就職も士試験、一般常識対策、適性試験対策（SPA）・集団及び個人面接・グループディスカッション等の指導や、小論文や履歴書添削も行いバックアップ体制をとる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8 %
（中途退学の主な理由） 身心的な疾病による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 幼稚園教諭1種コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	4284 単位時間	1440 単位時間	1404 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (教育専攻科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (教育専攻科の内数)	兼任教員数 (教育専攻科の内数)	総教員数 (教育専攻科の内数)	
1 6 0 人		1 1 人	0 人	3 人	3 9 人	4 2 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 全授業 36 回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動（地域ボランティアや教育実習の開拓サポート）の紹介から学修支援をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	4人 (50%)	4人 (50%)
（主な就職、業界等） 幼稚園・認定こども園・保育園・スクール事業（（株）スポーツコミュニティ）他			
（就職指導内容） 小論文、学習指導案添削、集団面接、個人面接、地域ボランティア（地域連携）、SPI、履歴書指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭第1種免許、学士			
（備考）（任意記載事項） 幼稚園教諭1種免許は、姫路大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	3人	10.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 小学校教諭1種コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	4284 単位時間	1440 単位時間	1404 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (教育専攻科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (教育専攻科の内数)	兼任教員数 (教育専攻科の内数)	総教員数 (教育専攻科の内数)	
1 6 0 人		4 人	0 人	3 人	3 9 人	4 2 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
全授業 36 回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動（地域ボランティアや教育実習の開拓サポート）の紹介から学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	4人 (50%)	4人 (50%)
（主な就職、業界等） 小学校教諭・スクール事業（（株）スポーツコミュニティ）他			
（就職指導内容） 小論文、学習指導案添削、集団面接、個人面接、地域ボランティア（地域連携）、SPI、履歴書指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 小学校教諭第1種免許状			
（備考）（任意記載事項） 小学校教諭1種免許は、姫路大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	3人	10.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	教育専攻科 昼間制 (4年制) 保健体育教諭1種コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間	4032 単位時間	1476 単位時間	1332 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (教育専攻科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (教育専攻科の内数)	兼任教員数 (教育専攻科の内数)	総教員数 (教育専攻科の内数)	
160人		13人	0人	2人	6人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 全授業36回のうち、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。また、進路指導、学外活動(地域ボランティアや教育実習の開拓サポート)の紹介から学修支援をしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	4人 (50%)	4人 (50%)
（主な就職、業界等） スクール事業（（株）スポーツコミュニティ）他			
（就職指導内容） 教員採用試験問題模擬、小論文、学習指導案添削、集団面接、個人面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 中学・高等学校保健体育教員第1種免許			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	3人	10.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) こども英語 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1404 単位時間	2592 単位時間	648 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の 内数)	
120人		1人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	2人 (40%)	3人 (60%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園、学童（（株）ライクアカデミー、社福）六踏園 調布学園			
（就職指導内容） 現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 保育士資格や幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) こども音楽 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1404 単位時間	2592 単位時間	648 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の 内数)	
120人		4人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	2人 (40%)	3人 (60%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園、学童（（株）ライクアカデミー、社福）六踏園 調布学園			
（就職指導内容） 現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) こどもスポ ーツコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間／単位	1404 単位時間	2592 単位時間	648 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
120人		1人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	2人 (40%)	3人 (60%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園、学童（（株）ライクアカデミー、社福）六踏園 調布学園			
（就職指導内容） 現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1512 単位時間	2412 単位時間	648 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
120人		2人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	2人 (40%)	3人 (60%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園、学童（（株）ライクアカデミー、社福）六踏園 調布学園			
（就職指導内容） 現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	こども学科 昼間制 (3年制) 保育士・幼 稚園教諭2種コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2592 単位時間	1656 単位 時間	1584 単位 時間	792 単位 時間	0 単位時 間	648 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の 内数)	
120人		4人	0人	3人	19人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	2人 (40%)	3人 (60%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園、学童（（株）ライクアカデミー、社福）六踏園 調布学園			
（就職指導内容） 現場実習における依頼の段階から就職活動がスタートしているという意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項） 保育士資格、幼稚園教諭2種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更によるもの		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1152 単位時間	1764 単位時間	432 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (幼児保育学科の内 数)	兼任教員数 (幼児保育学科の内 数)	総教員数 (幼児保育学科 の内数)	
80人		4人	0人	6人	19人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 指定保育士養成施設としての認定学科。卒業時に本校より保育士資格の授与が可能。 豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。 また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。 また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぽっぽ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 幼児教育学科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	3 人 (50%)	3 人 (50%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園、幼稚園（（株）こどものもり、さくらんぼ保育園）、他			
(就職指導内容) 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
(備考)（任意記載事項） 幼稚園教諭 2 種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状 ※2021 年度 幼児教育学科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児保育学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1224 単位時間	1692 単位時間	432 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (幼児保育学科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (幼児保育学科の内 数)	兼任教員数 (幼児保育学科の内 数)	総教員数 (幼児保育学科 の内数)	
40人		4人	0人	6人	19人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

併修先の大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。

また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2021 年度 幼児教育学科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	3 人 (50%)	3 人 (50%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園、幼稚園（（株）こどものもり、さくらんぼ保育園）、他			
(就職指導内容) 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼稚園教諭 2 種免許、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
(備考) (任意記載事項) 幼稚園教諭 2 種免許は、豊岡短期大学との併修により取得。			

中途退学の現状 ※2021 年度 幼児教育学科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児教育学科 昼間制 (2年制) 保育士・幼稚園教諭2種コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1080 単位 時間	1440 単位 時間	504 単位 時間	0 単位時 間	324 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
40人		6人	0人	2人	18人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

（概要）

豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。

また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	3 人 (50%)	3 人 (50%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 幼稚園（学校法人、その他） 保育園（学校法人、社会福祉法人、株式会社）			
（就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1 %
（中途退学の主な理由） 体調不良によるもの		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児教育学科 昼間制 (2年制) 保育士コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1080 単位 時間	1440 単位 時間	504 単位 時間	0 単位時 間	324 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の内 数)	
40人		0人	0人	2人	18人	20人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。

また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぼ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	3 人 (50%)	3 人 (50%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 幼稚園（学校法人、その他） 保育園（学校法人、社会福祉法人、株式会社）			
（就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組み姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1 %
（中途退学の主な理由） 体調不良によるもの		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	幼児教育学科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間 単位	1080 単位 時間	1440 単位 時間	504 単位 時間	0 単位時 間	324 単位 時間
			単位時間				
生徒総定員数 (こども学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (こども学科の内 数)	兼任教員数 (こども学科の内 数)	総教員数 (こども学科の 内数)	
40人		0人	0人	2人	18人	20人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照

学修支援等

(概要)

豊岡短期大学の科目履修に伴い、授業内でレポート作成や添削指導などをおこなっている。また、スクーリングなどでも単位を修得し易いよう、履修の方法など随時、担任と学生で面談をしながらおこなっている。

また、敷地内にある小金井市認可保育園である東京工学院きしゃぼっぱ保育園主催の子育て応援サークル「ちびっこどんぶり」や毎年学生が主体となって開催するイベント「こどもまつり」にて在学中に保護者と子どもとの関わりを多く取り入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	3人 (50%)	3人 (50%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 幼稚園（学校法人、その他） 保育園（学校法人、社会福祉法人、株式会社）			
（就職指導内容） 現場実習の依頼の段階から就職活動がスタートしていると意識付けをしている。 現場実習中の取り組む姿勢や子どもとの関わり方が評価され、卒業後に実習先へ就職するケースが多い。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士資格、キャンプインストラクター、BLS（心肺蘇生法）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	1人	7.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良によるもの		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談と適宜、個人面談・保護者面談の実施し、本人と家庭の意向を基に、学生個人の方向性を明確にする。 また、必要に応じてスクールカウンセラーに相談を薦める。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	公務員科 昼間制（2年制） 公務員コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3294 単位時間	0 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (公務員科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (公務員科の内数)	兼任教員数 (公務員科の内数)	総教員数 (公務員科の内 数)	
40人		3人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	1人 (16.7%)	2人 (33.3%)	3人 (50%)
（主な就職、業界等） ・公務員（航空自衛隊自衛官候補生）他			
（就職指導内容） ・授業時や本校キャリアセンターにおける面接・マナー指導や履歴書添削 ・職場見学や自衛隊説明会の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 2・3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・福祉 専門課程	公務員科 昼間制（2年制） 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3546 単位時間	0 単位時間	324 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (公務員科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (公務員科の内数)	兼任教員数 (公務員科の内数)	総教員数 (公務員科の内 数)	
40人		2人	0人	1人	14人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	1 人 (16.7%)	2 人 (33.3%)	3 人 (50%)
（主な就職、業界等） ・ 公務員（航空自衛隊自衛官候補生）他			
（就職指導内容） ・ 授業時や本校キャリアセンターにおける面接・マナー指導や履歴書添削 ・ 職場見学や自衛隊説明会の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ ビジネス能力検定（B 検）ジョブパス 2・3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		